

## 3号機 炉心シュラウド溶接線洗浄用部品の原子炉内への落下について

平成 17 年 2 月 28 日

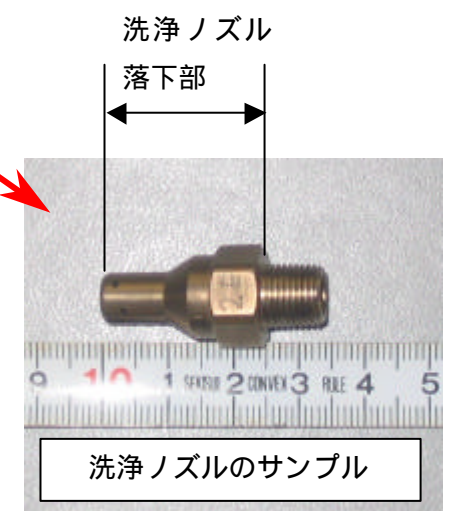
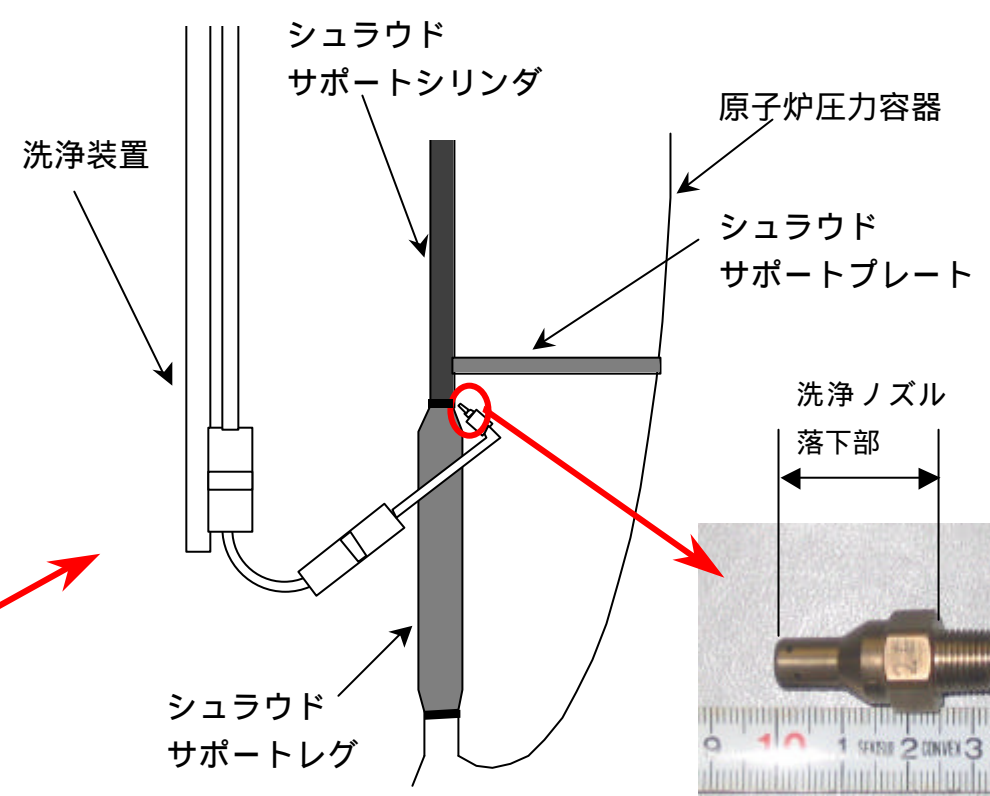
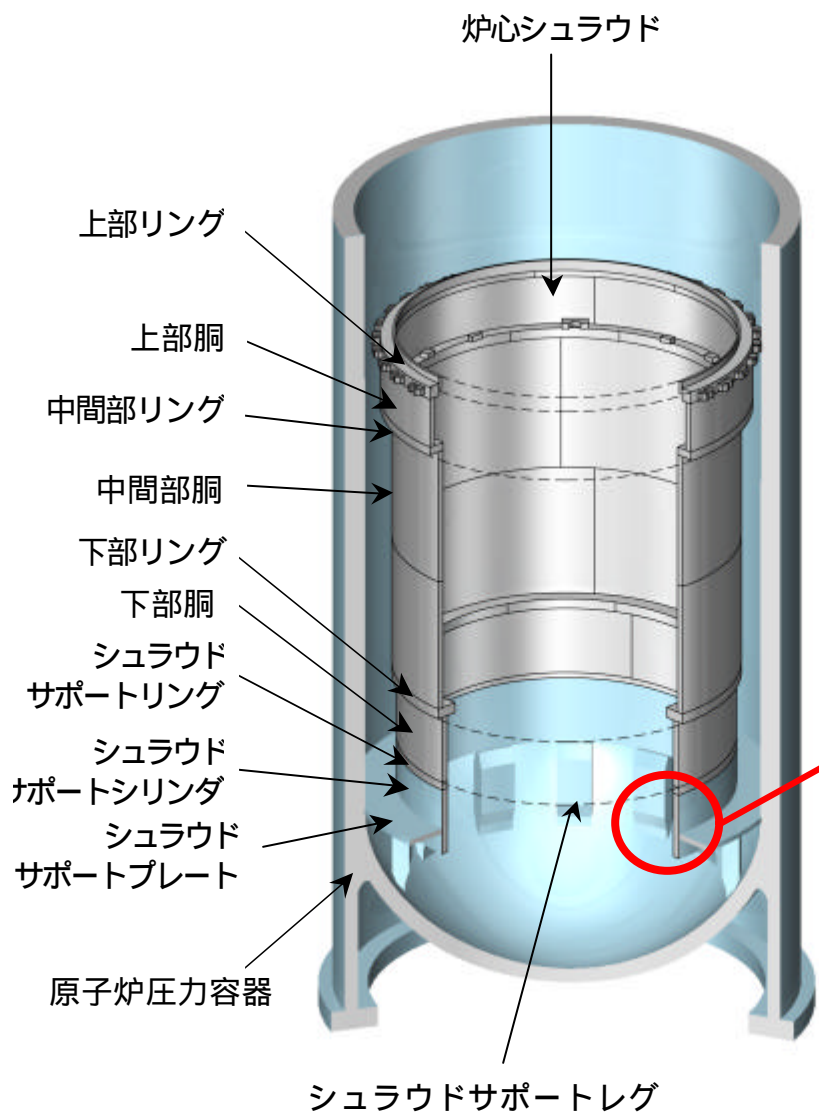
定期点検中の3号機(沸騰水型、定格電気出力110万kW)は、1月30日から「[炉心シュラウド及び原子炉再循環系配管等の点検計画](#)」に基づいて、炉心シュラウド及びシュラウドサポートリングの溶接線の点検を実施しています。

本日(2月28日)、炉心シュラウドを支えているシュラウドサポートシリンダとシュラウドサポートレグとの外側溶接線の水中カメラを用いた目視点検を行うための準備として、洗浄装置(高圧約20~30 MPa の水を吹き付ける装置)で、溶接線表面の付着物の除去作業を実施していたところ、装置の先端にある部品(洗浄ノズル:長さ約2.5cm、直径約1cmのステンレス製)が装置から外れ、原子炉内に落下していることを作業員が確認しました。

その後、落下した洗浄ノズルを回収しました。

今後、外れた原因について調査してまいります。

以上



洗浄作業の概略図